

公益財団法人名勝依水園・寧楽美術館

令和2年度事業報告

I. 公益目的事業の状況

1. 入園者数について

庭園事業および美術館事業の最近3年間の入園者数および入園料売上は以下の表の通りである。また最近10年間の日本人、外国人別年間入園者数は図の通りである。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染予防対策及び緊急事態宣言により、令和2年3月29日(日)から5月31日(日)までの2ヶ月間、休園・休館を実施した。(奈良等全国の緊急事態宣言は4月16日(木)～5月14日(木)、東京は4月7日(火)～5月25日(火)と1月8日(金)～2月7日(日))

最近3年間の入園者数・入園料売上

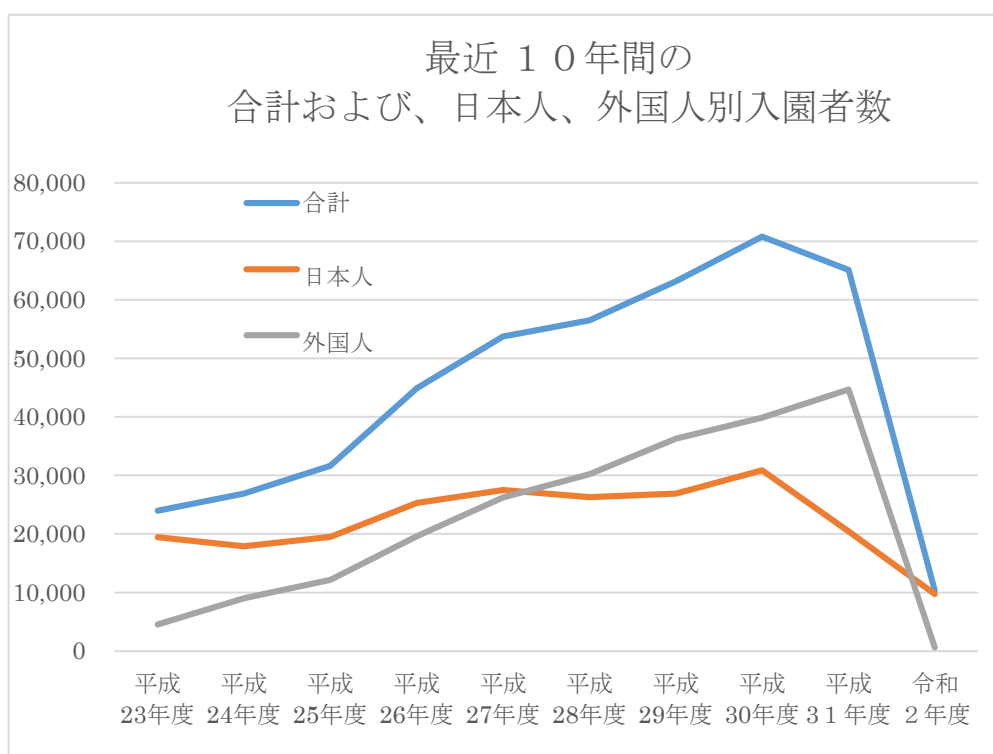
料金区分		平成 30年	平成 31年	料金区分	令和 2年	対前年度 比
入 園 者 数 (人)	一般 (@900)	57,859	48,530	一般 (@1,200)	6,914	14.2 %
	大学生 (@810)	3,216	3,004	高・大学生 (@500)	679	15.2 %
	中・高生 (@500)	2,411	2,299			
	小学生 (@300)	1,251	1,326	小・中学生 (@300)	327	
	特別 (@500)	1,466	1,219	特別 (@500)	703	57.7 %
	団体 (@810)	4,558	8,745	団体 (@1,000)	1,738	19.9 %
	合計	70,761	65,123	合計	10,361	15.9 %
	外国人 (内数)	39,894	44,676	外国人 (内数)	613	1.4 %

入園料売上 (円)		59,707,900	55,261,920	入園料売上 (円)	10,855,200	19.6 %
営業 日 数 (日)	施設	平成 30年	平成 31年	施設	令和 2年	対前年度比
	庭園	321	306	庭園	240	△66 日
	美術館	278	249	美術館	201	△48 日
	三秀	321	306	三秀	240	△66 日

(注 1) 令和 2 年 4 月 1 日より料金区分および料金を変更。

(注 2) 料金区分変更に伴い、従来の 15 名以上の団体扱いを中止する。ただし、料金割引提携を行っている団体には、団体料金を適用する。

最近 10 年間の入園者数合計および、日本人、外国人別入園者数はそれぞれ以下の通りである。また、過去 10 年間の月別入園者数は別紙のとおりである。



令和 2 年度の入園者数は、新型コロナウイルスの影響で前年度比 15.9%と上期の前年同期比 6.8%から持ち直したものの、入園者数が 1 万人台は、ここ 15 年間では記録がない数字で惨憺たる状況であった。外国人は、前年度比 1.4%とほぼ皆無となった。

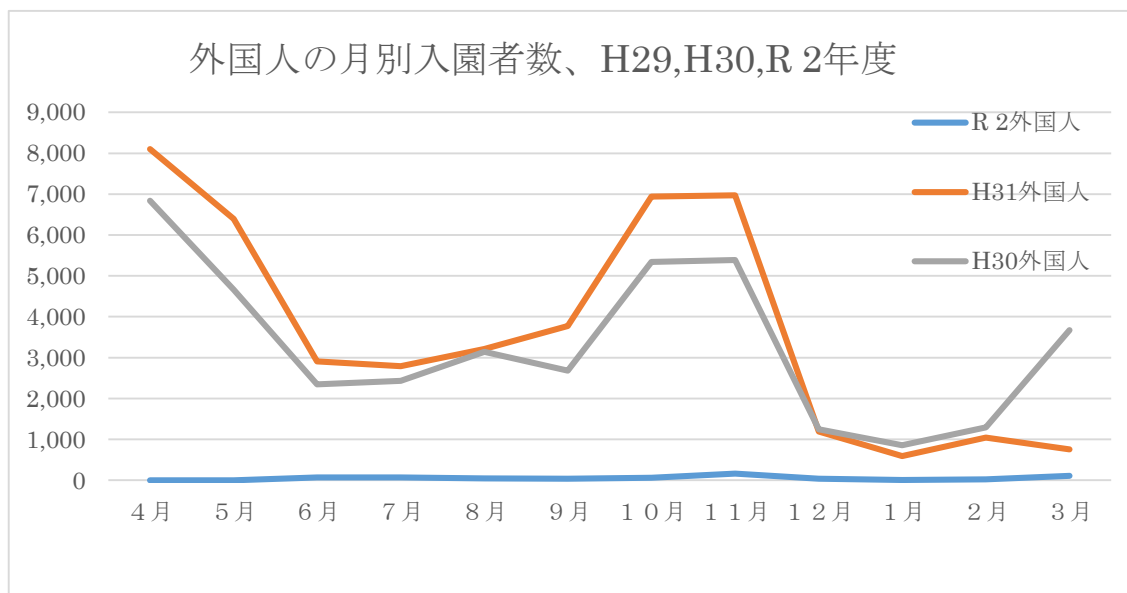
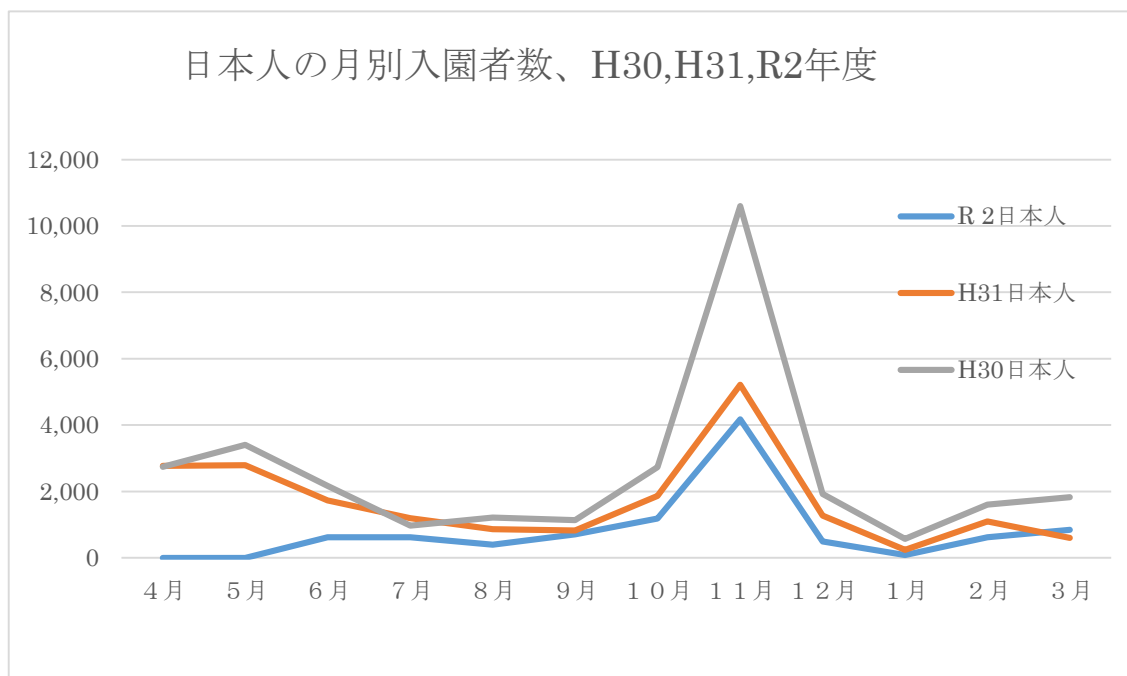
一方日本人においては、昨年度の20,447人が今年度は9,748人となり、前年度48%となった。4月・5月を休園、休館としたとはいえ、前年度の半分に届かない状況である。

入園者数の全体の落ち込みに対して料金区分の「特別」の落ち込みが少ない。この料金区分は、大半が老春手帳（奈良市在住で70才以上が利用）であり、遠出を避けて近場に行く傾向が出ている。

団体料金については、団体扱いを中止しており、大半が提携団体の割引料金扱いである。旅行会社等が扱う団体のお客様は皆無であった。

入園料売上については、入園者数が前年度比15.9%に対して、前年度比19.6%とアップしているのは、入園料改訂効果による。

また日本人と外国人のこの3年間の月別入園者数はそれぞれ以下の通りである。



今年度は、4月・5月は緊急事態宣言の発出等により、休園・休館となり、その後
も日本人入園者が回復しない状況が続いた。9月に対前年90%近くまで回復し、
10月からのGO TOトラベル、GO TO EATにより回復の兆しがみられたが、12月
28日から当分の間GO TOトラベルの一時停止により、水を差された感じである。唯
一3月が前年度を上回っているが、昨年度が緊急事態宣言の直前で大幅に減少した時
期である。外国人については、ほとんど来園者がいない状況で、自由に往来ができる
ようにならない限り、復活は難しい。

2. 美術館活動について

(1) 企画展

緊急事態宣言等により、令和2年4月1日(水)～5月31日(日)の間休館とした。

【前期展】：4月1日(月)～8月10日(月・祝)を予定変更し

6月1日(月)～9月22日(火・祝)

98日間

「財団設立80周年記念展(前期) 設立者中村準策と寧楽美術館」を開催した。

私設美術館のめずらしかった昭和15(1940)年に、大和郡山出身の中村準策(号:克齊^{かつさい})
により設立された当財団は、昨年3月に80周年を迎えた。これにあわせて、美術品の
蒐集から財団の設立までを示す展示を、あらたに見つかった資料を交え行った。

入館者数 2, 797人

<企画室>

自らの屋敷を「亦楽荘^{またらくそう}」と名付けるほど愛蔵した田能村竹田筆『亦復一楽帖』(重文)
をはじめ、準策が蒐集した茶道具や陶磁器・青銅器などの優品を展示した。

<常設室>

前期展・後期展の全期にわたり、「寧楽美術館のあゆみ」として財団設立、庭園の
一般公開、庭園の名勝指定に至るまでの資料を展示した。財団設立趣意書や、什寶目
録、同風印社(準一が参加した篆刻結社)のメンバーが1文字ずつ彫った「寧楽美術館
印」の磁印^{じいん}、戦火で焼けた美術品、依水園接收後の進駐軍と準策とのやりとりの手紙、
寧楽美術研究会10年のあゆみ、昭和33年一般公開当初のパンフレット等を展示した。

【後期展】：8月26日(水)～12月27日(日)を予定変更し、

9月30日(水)～2021年2月8日(月)

98日間

「財団設立80周年記念展(後期) 二代中村準一・三代準佑と寧楽美術館」を開催した。

準策の子で中国古印コレクションを築いた準一^{じゅんいち}(号:石廩^{せつげい})、孫で戦後依水園を公開
すると共に美術品の展覧を開始し、美術館を開設した準佑^{じゅんすけ}(号:佑齊^{ゆうさい})にスポットを当
てた。

入館者数 4, 913人

*毎年、田能村竹田筆、重要文化財『亦復一楽帖』は春季展、秋季展にそれぞれ1図、
各2週間公開していた。今年度は、前期・後期展を通して1図につき約12日間で、
全13図を順次公開した。

(2) 依水園開園記念日特別展示

令和2年6月1日(月) 入園料金:500円

平成27年度より開始している、6月1日の開園記念日を割引料金とする企画を今年も継続して実施した。ただし、例年美術館外廊に依水園のあゆみパネルを設置するが、今年は密を避けるため中止した。また同様に、この日の恒例行事となっていた煎茶美風流家元中谷美風氏による煎茶道を体験してもらうイベントも中止とした。

入園場者数 33人

(3) 美術品の修復

作品 山本梅逸「花鳥図屏風」二曲一双

令和元年度(公財)出光文化福祉財団による出光美術品修復事業助成を受けて修復を実施。

・期間 令和2年4月7日(火)～令和3年3月24日(水)

・依頼先 株式会社文化財保存

・修復内容

状態:虫食いによる欠失多数、隅金具の不具合、裏貼り紙の欠失、擦れ、汚れ

修復:本紙裏打紙交換、虫食い箇所補修紙繕い、隅金具の補修、縁裂・屏風下地・裏木・裏貼り紙の新調(旧下地の下貼り文書は剥がさず下地台ごと返却)

・立会い 7月8日(水)途中経過確認、10月28日(水)表具裂の選定

・費用 2,604,690円

内訳 助成金2,300,000円、当財団負担304,690円

(4) 美術品の借用

京都国立博物館(寄託品)から中村準一が長尾雨山に宛てた書簡2通を借用

後期展示:9月30日(水)～2021年2月8日(月)

返却:2月18日(木)

(5) 美術品の貸出

①作品:森川杜園 一刀彫「融」

貸出先:春日大社

展覧会:特別展「芸能の美、杜園の心」

会期:令和2年10月1日(木)～12月13日(日)

展示期間:全期

見解:正倉院展の時期とも重なり、来園者が多かった。と報告を受けた。

鹿の一刀彫が多い中、当館の色彩豊かな「融」の鮮やかさが際立っていた。

今後とも借用依頼があれば、できうる限り対応するものとする。

②作品:与謝蕪村「山水図」6曲1双屏風

貸出先:府中市美術館

展覧会:春の江戸絵画まつり 与謝蕪村「ぎこちない」を芸術にした画家

会 期：令和3年3月13日（土）～5月9日（日）

展示期間：後期4月13日（火）～5月9日（日）

ただし、東京都緊急事態宣言発出により4月25日（日）～5月9日（日）まで臨時休館となったため、4月24日（土）をもって閉幕となった。

見 解：前期展最終日4月11日（日）と後期展初日4月13日（火）を副館長・山崎が拝観。

拝観空間が広く、又展示室内も奥行きがあり、天井も高く、明るかったので、ゆったりと作品を見ることが出来た。当館の屏風は、後期展の1番最初の展示作品となっており、明るく広い空間の中で、1双を後ろに下がって見た時の迫力は、当館では味わえないものであった。改めて、蕪村の「大胆不敵」と言われる作品を広く知って頂くためにも、今後は条件さえ合えば貸出する方向で検討するべきであるとする。

（6）「依水園のひなまつり」の開催

一昨年度の初回に引き続き今年度も「依水園のひなまつり」を開催

期 間：令和3年2月10日（水）～3月3日（水） 19日間

場 所：主屋立礼の間・藤の間

観覧料：1,200円（入園料を含む）

内 容：「曲水の宴」の平飾りのひな人形・5段飾り稚児雛人形

新型コロナウイルス対策として、定員10名とし、チェックポイントのパネルを増やすことで極力職員による説明をなくした。

展示品は、依水園の前所有者である關 藤次郎が孫娘の初節句に贈った「曲水の宴」の平飾りひな人形をはじめとして、稚児雛、市松人形等關 藤次郎の縁者より当財団に寄贈されたものである。

入場者数 631人

(昨年度 入場者数 1,726人)

3. 広報宣伝、営業企画活動等について

（1）プレスリリース

美術館企画展（前期・後期）、依水園開園記念日等催しに関してプレスリリースを実施した。

（2）リーフレット作成

企画展、お茶室見学会、依水園のひなまつりに関してリーフレット（A4両面）を作成し市内観光案内所、ホテル等に配布を依頼した。

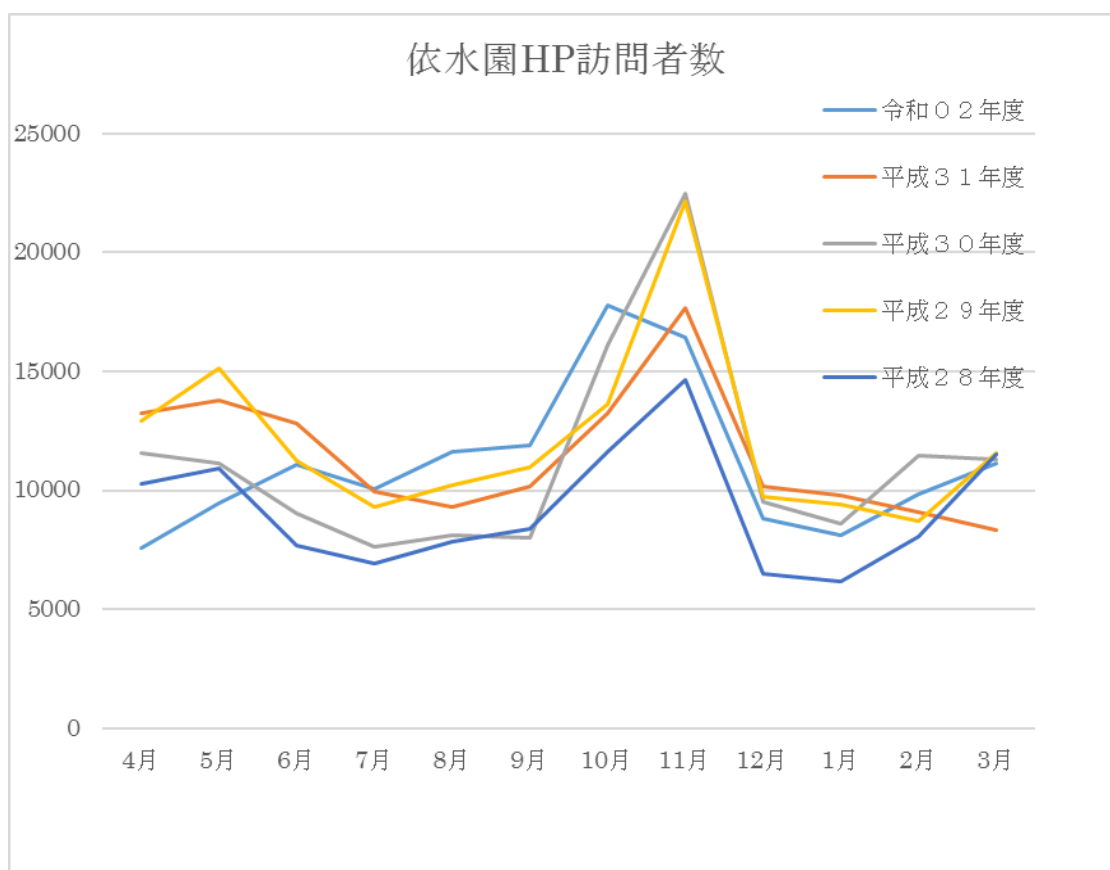
（3）職員による庭園案内を令和2年6月より開始（現在は新型コロナウイルスの影響で休止）

状況：新型コロナウイルス感染防止のため、お客様には積極的にアプローチを行

なっていない。(2020年6月～2021年3月の間 入園者に対する説明割合は約4.4%)

- (4) Twitter を令和2年11月から、Facebook を令和2年12月から開始
- (5) 画像プロデューサー^{ほさんこういち}保山耕一氏が日の出頃の依水園を撮影、編集された映像(2分程度)が『NHK 奈良ならナビ』の「やまとの季節七十二候」で放映(令和3年2月17日)されるととともに、YouTube 動画にあげられた。
- (6) 奈良テレビの放映
平成12年(2000年)財団設立60周年記念の際に制作された番組「寧楽美術館と中村準策」が、令和2年(2020年)5月12日に再放送された。(奈良テレビ放送「ゆうドキッ!」)
- (7) 博報堂による美術館紹介サイト『Kita-colle ART』と音声コンテンツアプリ『33Tab』のコラボに参加している。
- (8) ホームページ

平成28年度以降の依水園 HP 訪問者数は下記グラフの通りである。



令和2年度の合計アクセス数は前年度に比べて97%で、ほとんど変わらなかった。また月別に比較すると、7, 8, 9, 10月は前年度を上回るだけでなく、過

去最大である。3月も、コロナ禍の影響のあった前年度を上回り、ほぼ2年前並である。前述の通り、日本人入園者数は、他の月同様、7, 8, 9, 10月も前年度を下回っているが、旅行、観光への願望、在宅時間の増加等からアクセス数の増加につながったものと推測でき、コロナ終息後の入園客増の期待につながる。なお参照しているHPのアクセスログでは、アクセス者の国別等の区分はできないので、これらのアクセスの日本人からと外国人からとの比率は不明である。

今期のホームページの花だよりの更新は14回（前年度7回）、合計36枚の写真更新（前年度18枚）を行った。

(9) トリップアドバイザー (<https://www.tripadvisor.jp>)

依水園は令和元年5月に世界最大の旅行サイト「トリップアドバイザー」の「エクセレンス認証 2019(Certificate of Excellence)」を受賞して、5年連続の受賞となり、Certificate of Excellence Hall of Fame（いわゆる殿堂入り）を受賞したのに続き、2020年度のトラベラーズチョイスに選ばれている。（2020年度からエクセレンス認証トラベラーズチョイスに呼称を変更。トリップアドバイザーは、「旅行者から一貫して高評価の口コミを獲得し、かつトリップアドバイザーに掲載されている施設の上位10%にランクインした宿泊施設、観光スポット、およびレストランにトラベラーズチョイスアワードを授与します」と述べている。）

令和3年5月20日現在で、旅行者のコメントでの評価は、486件中とても良い304、良い121、普通51、悪い9、とても悪い1、で平均4.5であり、昨年度とほとんど変化はなく、また3ヶ月前とは全く変化がない。

コメントの言語別も3ヶ月前と全く変わらず、英語276、日本語86、中国語（簡）68、中国語（繁）66、フランス語32、イタリア語23、スペイン語21、他45（ドイツ語、ポルトガル語、ロシア語等）で、前年度との比率も変わっていない。

奈良の観光地での順位は、依水園は9位（昨年5月は8位、今年2月は7位、）で、ベスト10は、奈良公園、東大寺、春日大社、奈良国立博物館、東大寺二月堂、唐招提寺、興福寺、奈良県猿沢ビジターセンター&イン、依水園、奈良町の順である。

4. 補助事業について

今年度は、柳生堂の屋根葺き替え、蔵の修理の補助事業が認められ実施した。

事業費 19,984 千円（内訳 11,990 千円が文化庁補助額、2,997 千円が県補助額、2,797 千円が市補助額、2,200 千円が当財団負担額）

また、今年度に引き続き柳生堂の屋根葺き替えの補助事業申請を行い、令和3年度の補助事業が認められた。

事業費 24,000 千円（内訳 12,000 千円が文化庁補助額、3,600 千円が県補助額、2,640 千円が市補助額、5,760 千円が当財団負担額）

5. 文化活動について

(1) 第22回依水園文化講演会

日時：令和2年5月16日（土）13:00～15:30

「『亦復一楽帖』に魅せられて ～文人、田能村竹田の世界～」

講師：中谷美風 氏（煎茶美風流家元）

は新型コロナウイルスの影響により中止とした。

(2) 庭園大研究会

当財団主催の事業として15年目を迎えた、庭師育成の「庭園大研究会」は講師牧岡一生氏（庭舎 MAKIOKA 代表）の講義、実習とお茶の実習による月例（月1回第2日曜日）の講習会を約20名の受講者を対象に継続開催中である。（新型コロナウイルスの影響により中止した月もあり、本年度は4回開催する。）

(3) 「奈良工芸の粋」展会場提供

平成29年度より、毎年3月に奈良新聞社が主催する「奈良工芸の粋」展の会場として当園の美術館、主屋、茶室等を貸出し、奈良漆器、赤膚焼、一刀彫等奈良の工芸品の展示、販売に協力している。

① 令和元年度の催事として、令和2年3月12日（木）～16日（月）の5日間開催を予定していたが新型コロナウイルス感染防止対策のため9月に延期となった。

- ・令和元年度分の会期：令和2年9月19日（土）～21日（月）（3日間に縮小）特別展示（美術館）、お茶席、作家酒器を使つての試飲、ギャラリートークを中止し、柳生堂において、ビデオによる工芸の製作過程を上映した。

入場者数 1,002人

② 今年度も奈良工芸の発展を支援するため会場として美術館、主屋、茶室等の貸出を継続して行った。

- ・令和2年度の会期：令和3年3月18日（木）～22日（月）の5日間開催お茶席、作家酒器を使つての試飲、ギャラリートークは行わず、当園の美術館、主屋、茶室において、奈良漆器、赤膚焼、一刀彫等の奈良の工芸品の展示、販売を行う。

入場者数 1,305人

(4) お茶室見学会

日時：令和3年2月3日（水）～7日（日）（5日間） 10:30～1日3回

参加費：3,000円

平成25年より例年2月に奈良市主催で開催されている珠光茶会開催期間中、園内の茶室を公開する「依水園お茶室見学会」を開催している。今年の珠光茶会は中止であったが、新型コロナウイルス対策を行い予約制、定員を1回4名までとして開催した。

参加者数 25人

6. その他

(1) 一般財団法人田能村竹田顕彰会（大分県竹田市）からの依頼

田能村竹田の出身地の大分県竹田市に竹田市歴史文化館が建設され、その敷地の中

に亦復一楽帖に関する石碑が建立された。一楽帖の解説文、竹田と頼山陽についての説明文とともに帖の4図（第3図「屏居山中」・第7図「順風張帆」・第8図「把盃卓立」・第12図「牡丹」）の写真を焼き付けた陶板がはめ込まれており、四国の伊予石で作られている。令和2年10月24日(土)の竹田市歴史文化館開館式典と石碑の除幕式に、中村副館長と山崎学芸部長が出席した。

II. 収益事業の状況

令和2年度の収益事業のうち、飲食事業の売上、費用、損益はそれぞれ以下の通りであった。

収益（含む雑収益）	4,450千円（前年度11,552千円）	前年度比	38%
費用	8,088千円（前年度12,515千円）	前年度比	64%
損益	-3,638千円（前年度-963千円）	前年度比	-

収益（売上）は新型コロナウイルスの影響で前年度の38%となった。これは主な顧客である日本人入園者が前年度比47%と激減したことで、食事及び抹茶の売上がそれぞれ33%、22%となっている。なお、収益には、昨年度になかった雑収益として雇用調整助成金869千円が含まれる。

費用は前年度に比べ約4,400千円減となっている。内訳は、事業原価で約2,000千円減、給与手当で約1,000千円減、旅費交通費で約500千円減、消耗品費で約300千円減、消費税等で約400千円減が主なところである。

物販事業は、収益317千円（前年度750千円）、費用645千円（前年度1,281千円）で損益328千円（前年度-531千円）の昨年同様赤字となった。

不動産事業は、一昨年度から貸家4軒がすべて空き家となり、収入は館舎分家賃のみである、従って減価償却費、固定資産税等がほぼそのまま赤字となり、損益は2,249千円の赤字となった。空き家となった貸家およびその敷地の活用方法について、継続検討中であり、今年度も特に具体化はされなかった。

III. 庶務事項

1. 組織・人員等

(1) 主要事項

なし

(2) 人員（令和3年3月31日 現在）

理事	6名（うち常勤2名）
監事	2名（非常勤）
評議員	6名（非常勤）
職員	25名

2. 役員会

(1) 評議員会

①定時評議員会（令和2年 6月22日 依水園会議室 ビデオ会議）

議題 第1号議案 平成31年度決算案承認の件

第2号議案 評議員選定の件

第3号議案 役員（理事、監事）選定の件

報告事項 平成31年度事業報告

(2) 理事会

①第1回理事会（令和2年 6月 4日 依水園会議室 ビデオ会議）

議題 第1号議案 平成31年度事業報告書および決算案承認の件

第2号議案 定時評議員会招集の件

第3号議案 定時評議員会議案の「評議員、役員（理事、監事）選定の件」の件

第4号議案 貸家の土地売却交渉の件

報告事項 理事長及び館長の職務の執行状況報告議題

②第2回理事会（令和2年6月22日 依水園会議室 ビデオ会議）

議題 第1号議案 代表理事（理事長）、業務執行理事（館長）、副館長選定の件

③第3回理事会（令和3年3月11日 依水園会議室 ビデオ会議）

議題 第1号議案 令和3年度事業計画書案および収支予算書案並びに資金調達および重要な設備投資の見込み承認の件

報告事項 代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況報告

IV. その他

1. 新型コロナウイルス対応について

(1) 令和2年3月29日（日）から5月31日（日）までの2ヶ月間、新型コロナウイルス感染予防対策及び緊急事態宣言により、休園・休館を実施。

(2) 新型コロナウイルス感染予防対策

(当園・当館の取組)

- ・職員は、検温発熱のないことを確認して出勤する。
- ・職員のマスク着用、手洗い、手指の消毒徹底。
- ・通常の清掃、消毒に加え、よく人が触れるところを随時消毒。
- ・定期的に展示室、部屋の換気実施。
- ・美術館入館者の上限を20人とする。お食事処三秀入店人数の上限を20名とする。

(お客様に対して)

- ・チケット購入前の体温測定。37.5℃以上の場合は入園・入館お断り。

- ・発熱等体調不良の方の入園・入館お断り。
- ・マスク着用の協力。
- ・他の方との距離を2メートル保っていただく。

2. 雇用調整助成金

- ①申請開始日 令和2年4月分給与から
- ②交付額

(円)

月	5月	6月	7月	10月	11月
交付額	548,118	1,293,480	952,380	304,394	217,917
月	12月	1月	2月	3月	合計
交付額	196,125	228,485	64,547	204,603	4,010,049

3. 持続化給付金

- ①申請日 2020年6月22日付
- ②交付額 2,000千円(2020年6月30日入金)

4. 令和2年度文化芸術振興費補助金(文化施設の感染症防止対策事業)

- ①申請日 2020年7月20日付
- ①交付決定通知 2020年12月24日付
- ②交付額 45,000円(2021年3月1日入金)

5. GO TO トラベル事業・奈良 GO TO EAT キャンペーン

(1) GO TO トラベル事業

- ①取扱開始日 2020年10月17日
- ②取扱期間 2021年6月30日まで(予定)
- ③取扱金額(2020年12月25日まで)
 - 紙 515,000円
 - 電子 229,000円
 - 合計 744,000円(10月~12月までの総売上の約8%)

※2020年12月26日から当分の間取り扱い延期

(2) 奈良 GO TO EAT キャンペーン

- ①取扱開始日 2020年10月23日
- ②利用期間 2021年6月30日まで(予定)
- ③取扱金額(2021年3月31日まで) 83,000円

以上